



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月2日

上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

コード番号 8306 URL <https://www.mufg.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 亀澤 宏規

問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部主計室 室長 (氏名) 高橋 昌久

(TEL) 050-3613-1179

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 : 有

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,793,767	55.7	848,932	△39.1	343,175	△67.9
2022年3月期第3四半期	4,362,918	△2.9	1,393,611	65.8	1,070,398	76.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 458,855百万円(△66.1%) 2022年3月期第3四半期 1,354,948百万円(25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	27.69	27.42
2022年3月期第3四半期	83.44	83.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	391,386,575	17,693,281	4.3
2022年3月期	373,731,910	17,988,245	4.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,656,904百万円 2022年3月期 17,023,773百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.50	—	14.50	28.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績目標(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」は10,000億円を目標としております。(2022年5月16日公表の目標値から変更ありません。)

(当社グループは、銀行業、信託銀行業、証券業、クレジットカード・貸金業等の金融サービス業を展開しておりますが、これらの業務には、経済情勢、相場環境等に起因するさまざまな不確実性が存在するため、業績予想に代えて、親会社株主に帰属する当期純利益の目標値を記載しております。)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	12,863,068,820株	2022年3月期	13,281,995,120株
2023年3月期3Q	754,628,058株	2022年3月期	667,296,084株
2023年3月期3Q	12,392,140,124株	2022年3月期3Q	12,828,619,616株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 会計方針の変更	6
(6) 表示方法の変更	6
(7) 追加情報	7
(8) 重要な後発事象	9

(補足説明資料)

2023年3月期第3四半期決算説明資料

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
現金預け金	110,763,205	104,314,618
コールローン及び買入手形	872,268	954,016
買現先勘定	12,308,310	13,794,210
債券貸借取引支払保証金	4,517,952	4,050,188
買入金銭債権	6,466,822	7,960,603
特定取引資産	17,704,455	21,679,701
金銭の信託	1,332,492	1,393,766
有価証券	79,560,579	82,443,754
貸出金	110,426,224	119,232,825
外国為替	2,300,859	2,391,345
その他資産	14,050,293	17,879,539
有形固定資産	1,236,012	1,268,825
無形固定資産	1,344,225	1,462,257
退職給付に係る資産	1,374,607	1,474,489
繰延税金資産	213,922	509,673
支払承諾見返	10,481,838	11,681,491
貸倒引当金	△1,222,162	△1,104,733
資産の部合計	373,731,910	391,386,575
負債の部		
預金	215,427,299	220,385,436
譲渡性預金	10,938,831	14,052,200
コールマネー及び売渡手形	2,429,791	5,474,724
売現先勘定	27,619,262	33,808,984
債券貸借取引受入担保金	1,072,578	535,048
コマーシャル・ペーパー	2,108,531	2,902,782
特定取引負債	12,397,702	16,412,069
借入金	31,763,332	22,766,781
外国為替	2,182,400	2,752,337
短期社債	1,316,803	1,083,799
社債	13,257,347	15,508,025
信託勘定借	12,811,123	10,090,460
その他負債	10,861,695	15,549,713
賞与引当金	136,724	139,990
役員賞与引当金	1,866	3,710
株式給付引当金	8,437	8,834
退職給付に係る負債	86,355	95,320
役員退職慰労引当金	812	774
ポイント引当金	17,113	19,938
偶発損失引当金	232,291	175,372
特別法上の引当金	4,656	4,660
繰延税金負債	492,451	149,063
再評価に係る繰延税金負債	94,414	91,771
支払承諾	10,481,838	11,681,491
負債の部合計	355,743,665	373,693,293

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
資本金	2,141,513	2,141,513
資本剰余金	770,277	502,606
利益剰余金	11,998,157	11,962,825
自己株式	△451,288	△529,145
株主資本合計	14,458,659	14,077,799
その他有価証券評価差額金	1,615,060	356,521
繰延ヘッジ損益	△81,145	△559,104
土地再評価差額金	140,628	138,608
為替換算調整勘定	734,588	2,443,770
退職給付に係る調整累計額	193,865	166,187
在外関係会社における債務評価調整額	△37,883	33,122
その他の包括利益累計額合計	2,565,114	2,579,104
非支配株主持分	964,471	1,036,377
純資産の部合計	17,988,245	17,693,281
負債及び純資産の部合計	373,731,910	391,386,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
経常収益	4,362,918	6,793,767
資金運用収益	1,887,228	3,777,403
(うち貸出金利息)	1,208,048	1,962,953
(うち有価証券利息配当金)	397,420	1,152,253
信託報酬	107,925	107,390
役務取引等収益	1,245,749	1,384,135
特定取引収益	176,842	411,522
その他業務収益	268,460	376,637
その他経常収益	676,711	736,678
経常費用	2,969,306	5,944,835
資金調達費用	395,989	1,445,092
(うち預金利息)	135,630	531,575
役務取引等費用	223,068	243,550
特定取引費用	2,970	19,077
その他業務費用	113,393	1,310,837
営業経費	2,006,496	2,206,193
その他経常費用	227,387	720,083
経常利益	1,393,611	848,932
特別利益	126,805	10,097
固定資産処分益	21,701	10,097
持分変動利益	64,601	—
関連会社株式売却益	27,870	—
事業譲渡益	8,391	—
子会社株式売却益	4,240	—
特別損失	64,209	74,664
固定資産処分損	7,791	9,837
減損損失	36,756	11,709
金融商品取引責任準備金繰入額	4	3
関連会社株式売却損	—	29,401
持分変動損失	19,657	23,711
税金等調整前四半期純利益	1,456,207	784,365
法人税、住民税及び事業税	270,579	373,662
法人税等還付税額	△14,170	△49,569
法人税等調整額	69,919	57,430
法人税等合計	326,327	381,524
四半期純利益	1,129,879	402,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,481	59,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070,398	343,175

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,129,879	402,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,033	△1,101,118
繰延ヘッジ損益	△65,601	△489,208
為替換算調整勘定	267,237	1,101,845
退職給付に係る調整額	△17,113	△28,379
持分法適用会社に対する持分相当額	130,580	572,874
その他の包括利益合計	225,069	56,014
四半期包括利益	1,354,948	458,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,303,978	359,186
非支配株主に係る四半期包括利益	50,969	99,669

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(2021年6月17日企業会計基準委員会。以下、「時価算定適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該適用指針の適用に伴う、当社の四半期連結財務諸表への影響はありません。

(6) 表示方法の変更

前第3四半期連結累計期間において、「法人税、住民税及び事業税」に含めていた「法人税等還付税額」は、金額の重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「法人税、住民税及び事業税」に表示していた256,408百万円は、「法人税、住民税及び事業税」270,579百万円、「法人税等還付税額」△14,170百万円として組み替えております。

(7) 追加情報

(新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢の影響に関する貸倒引当金の見積り)

当社の主要な国内銀行連結子会社における貸倒引当金の算定プロセスには、取引先の債務償還能力を評価・分類した内部信用格付の決定、取引先から差し入れられた担保の価値の評価、及び、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整といった種々の見積りが含まれております。

このうち内部信用格付は、取引先の決算情報に基づく財務定量評価に加え、現時点及び将来の取引先が属する業界環境や、経営リスク、資金調達リスク等の定性要因を基に決定しております。特に、新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」という。)やロシア・ウクライナ情勢の長期化影響等に起因する不透明な事業環境により、一部の取引先の財政状態及び経営成績には重要な影響が生じており、このような特定の取引先の内部信用格付については、将来の業績回復見込みや事業の継続可能性の判断に高度に依存して決定される場合があります。

また、主要な国内銀行連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行(以下、「三菱UFJ銀行」という。)では、貸倒引当金の算定にあたり、主として貸倒実績又は倒産実績を基礎とした貸倒実績率又は倒産確率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な調整を加えて、予想損失率を算定しております。

この過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整は、特に、COVID-19及びロシア・ウクライナ情勢等の状況を踏まえ、最近の期間における貸倒実績率又は倒産確率の増加率を考慮する、又は予想損失額の追加計上を考慮する等により、必要と認められる場合に実施しております。当該調整による影響額は、63,673百万円(前連結会計年度末は77,572百万円)であります。

このほか、米国会計基準を適用する一部の在外子会社については、米国財務会計基準審議会会計基準コーディフィケーション(ASC)326「金融商品－信用損失」に従い、残存契約期間にわたって予想信用損失を見積り、貸倒引当金を計上しております。当該予想信用損失は、マクロ経済変数を用いて経済予測シナリオを反映する定量的測定モデルにより算定され、この算定プロセスには、複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそれぞれの経済予測シナリオに付与されるウェイト比率等の決定が含まれます。更に、定量的測定モデルには反映されていない予想される信用損失を補捉するために定性的な要因による調整が加えられております。なお、MUFJ Americas Holdings Corporation(以下、「MU AH」という。)が保有するMUFJ Union Bank, N.A.(以下、「MUB」という。)の全株式をU.S. Bancorp(以下、「USB」という。)に譲渡する株式譲渡契約の締結に伴い、売却目的保有に分類された貸出金等は、ASC310「債権」に従い時価評価されるため、貸倒引当金は計上していません。

上記のような貸倒引当金の算定における主要な仮定には不確実性があり、特に、特定の取引先の将来の業績回復見込みや事業の継続可能性に対する判断、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整、並びに米国会計基準を適用する一部の在外子会社における複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそのウェイト比率の決定ないし定性的な要因による調整は、客観的な情報を入手することが困難な経済環境に係る見積りに基づいております。

取引先の経営状況及び経済環境に影響を及ぼすCOVID-19及びロシア・ウクライナ情勢の今後の見通しは高い不確実性を伴うことから、COVID-19の影響は継続するも経済活動制限は主要国中心に緩和され景気影響は減じていく、ロシア・ウクライナ情勢に起因する不透明な事業環境が継続する等、一定の仮定を置いた上で、客観性や合理性を確保した最善の見積りを行っております。

当第3四半期連結会計期間において、COVID-19及びロシア・ウクライナ情勢の今後の見通しの前提となる事象又は状況に関して、前連結会計年度末から著しい変動は認められないため、当該仮定に重要な変更を行っておりません。なお、世界的なインフレの高止まりと各国の大幅な金融引き締め、及びそれらの累積的な効果による景気後退リスクの増大等には注意を要し、これらに起因し当該仮定についての不確実性が高いことから、取引先の経営状況及び経済環境への影響が変化した場合には、当連結会計年度末の連結財務諸表以降において貸倒引当金は増減する可能性があります。

(2023年3月期第3四半期連結財務諸表及び第4四半期連結財務諸表に影響する評価損失等の計上)

MUB株式の譲渡契約の締結に伴い、MUAHは、2022年12月期第3四半期(2022年1月～9月)において、ASC326「金融商品－信用損失」、ASC310「債権」等に従い、総額1,044,886百万円の損失を計上しました。そのうちの主なものとして、売却予定の有価証券に係る公正価値評価による損失をその他業務費用に594,782百万円計上し、また、売却予定の貸出金に係る公正価値評価による損失をその他経常費用に449,547百万円計上しました。当該評価損失は、当社の2023年3月期第3四半期連結財務諸表に反映されております。

同様に、MUAHは、2022年12月期第4四半期(2022年10月～12月)において、総額約10百億円の利益を計上する見込みです。そのうちの主なものとして、売却予定の有価証券に係る公正価値評価による利益をその他業務費用の減少として約4百億円計上し、また、売却予定の貸出金に係る公正価値評価による利益をその他経常費用の減少として約5百億円計上する見込みです。当該評価益は、当社の2023年3月期第4四半期連結財務諸表に反映される予定です。

なお、MUB株式の譲渡に伴う子会社株式売却益は、当社の2023年3月期第4四半期連結財務諸表に反映される予定です。

(8) 重要な後発事象

(MUFG Union Bank, N.A. 株式の譲渡及びMUFG Union Bank, N.A. の一部事業の譲受)

当社が子会社の四半期決算日(2022年9月末)の財務諸表により連結している子会社であるMUAHは、2022年12月1日、同社が保有するMUBの全株式をUSBに譲渡(以下、「本株式譲渡」という。)いたしました。

なお、MUAHがUSBに対して譲渡したMUBの事業には、MUBが営んでいたグローバルCIB事業(一部預金等の例外を除く。)、グローバルCIB事業に関連する市場業務(対顧客・投資家取引)、及び一部のミドル・バックオフィス機能等は含まず、これらの事業は、本株式譲渡に先立って、三菱UFJ銀行及びMUAHに、現金を対価とする事業譲受により移管いたしました。

① 事業分離

(イ) 事業分離の概要

(i) 分離先企業の名称

U.S. Bancorp

(ii) 分離した事業の内容

MUBにおけるリテール及びコマーシャル・バンキング事業

(iii) 事業分離を行った主な理由

当社は、かねてより米国におけるリージョナルバンク事業をグループ戦略における重要な事業と位置付けてまいりました。一方で、MUBを取り巻く事業環境は、デジタル化対応によるIT投資の必要性などにより、競争力の維持・強化には一定のスケールが求められる状況です。

こうした状況に鑑み、当社は、MUBをより強固な事業基盤を有する米国大手銀行USBに譲渡することが、お客さま及びコミュニティーに対してより質の高い金融サービスを提供することに繋がり、MUBの潜在的なフランチャイズ・バリューを実現するために最適な選択肢であると判断しました。また、当社にとって現中期経営計画で掲げている経営資源の最適配置の観点から、米国においては、MUBを売却し、法人取引を中心とした事業ポートフォリオへシフトすることが、資本効率を高め株主価値の最大化に資するとの結論にいたりました。

(iv) 事業分離日

2022年12月1日

(v) 事業分離の法的形式

金銭及び株式を対価とする株式譲渡

(ロ) 2023年3月期第4四半期連結財務諸表に反映される会計処理の概要

金額はいずれも精査中であり、以下程度を見込んでおります。

(i) 移転損益の金額

子会社株式売却益 約70百億円

(ii) 移転した事業に係る資産及び負債の額

資産の額 約1,364百億円(うち、貸出金約757百億円、有価証券約312百億円)

負債の額 約1,298百億円(うち、預金約1,180百億円)

(iii) 会計処理

譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却額との差額を子会社株式売却益として特別利益に計上いたします。

(ハ) 分離した事業が含まれていた主な報告セグメントの名称

グローバルコマーシャルバンキング事業本部

(ニ) 当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

経常収益 360,721百万円

経常損失 968,110百万円

(ホ) 事業分離における継続的関与の概要

本株式譲渡の対価の一部としてU S Bの株式を受領しました。

また、本株式譲渡後のMUB及び三菱UFJ銀行にて円滑に継続して、質の高い金融サービスを提供できるようTransitional Service Agreement及びReverse Transitional Service Agreementを締結し、三菱UFJ銀行においてサービス提供・受領を行っております。

加えて、関係当局の許認可取得及びその他の前提条件が充足されることを条件に、グローバルCIB事業顧客及び日系顧客に係る法人カード事業を三菱UFJ銀行がMUBより譲り受ける予定です。

なお、当期に発生した共通支配下の取引についても、以下の通り「重要な後発事象」に含めて記載しております。

② 共通支配下の取引

(イ) 事業譲受の概要及び目的

MUBのグローバルCIB事業(一部預金等の例外を除く。)、グローバルCIB事業に関連する市場業務(対顧客・投資家取引)、及び一部のミドル・バックオフィス機能等は、本株式譲渡に先立って、2022年11月末までに三菱UFJ銀行及びMU AHに移管いたしました。

これは、引き続きグループにとっての重要市場と位置付けている米国市場において、当社の強みを生かせる法人取引に経営資源を集中するために行ったものであります。

(ロ) 実施した会計処理の概要

企業会計基準第21号「企業結合に関する会計基準」(2019年1月16日 企業会計基準委員会)、及び企業会計基準適用指針第10号「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(2019年1月16日 企業会計基準委員会)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

(ハ) 本事業譲受によって三菱UFJ銀行に移管された資産及び負債の額

資産の額 3,298,438百万円(うち、貸出金2,729,179百万円)

負債の額 503,791百万円(うち、支払承諾337,944百万円)

2023年3月期第3四半期
決算説明資料

【目 次】

下記では、三菱UFJフィナンシャル・グループは「持株」、三菱UFJ銀行は「銀行」、三菱UFJ信託銀行は「信託」と省略して表示しております。

また、【2行合算】は、三菱UFJ銀行及び三菱UFJ信託銀行の単体ベースの単純合算であります。

1. 損益状況	【持株 連結】【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	1
2. 銀行法及び再生法に基づく債権	【持株 連結】【2行合算＋信託勘定】【銀行 単体】【信託 単体】【信託勘定】	5
3. 有価証券	【持株 連結】【銀行 単体】【信託 単体】	6
4. ROE	【持株 連結】	9
5. 預貸金利回	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	10
6. 預金、貸出金の残高	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	11
7. 信託財産残高表	【信託 単体】	12

1. 損益状況

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増 減
1 連結業務粗利益	3,579,828	2,950,895	628,933
2 (信託勘定償却前連結業務粗利益)	3,579,828	2,950,846	628,982
3 資金利益	2,313,738	1,491,350	822,387
4 信託報酬	107,390	107,925	△ 535
5 うち与信関係費用(信託勘定)	-	49	△ 49
6 役務取引等利益	1,140,584	1,022,681	117,903
7 特定取引利益	392,691	173,871	218,820
8 その他業務利益	△ 374,575	155,066	△ 529,642
9 うち国債等債券関係損益	△ 572,392	66,188	△ 638,581
10 営業費	2,198,305	2,017,815	180,489
11 うちのれん償却額	15,637	13,147	2,490
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定・のれん償却前)	1,397,161	946,177	450,983
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	1,381,523	933,030	448,492
14 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	78,461	-	78,461
15 連結業務純益(注1)(13+5+14)	1,459,984	933,079	526,904
16 臨時損益(△は費用)	△ 611,052	460,531	△ 1,071,583
17 与信関係費用	△ 660,826	△ 117,703	△ 543,123
18 貸出金償却(注2)	△ 546,999	△ 110,646	△ 436,352
19 個別貸倒引当金繰入額	△ 118,502	-	△ 118,502
20 その他の与信関係費用	4,675	△ 7,056	11,732
21 貸倒引当金戻入益	-	25,874	△ 25,874
22 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	23,208	2,511	20,696
23 償却債権取立益	74,641	61,971	12,670
24 株式等関係損益	203,113	194,899	8,213
25 株式等売却益	237,258	220,027	17,231
26 株式等売却損	△ 21,183	△ 19,232	△ 1,950
27 株式等償却	△ 12,962	△ 5,894	△ 7,067
28 持分法による投資損益	357,673	324,508	33,165
29 その他の臨時損益(注2)	△ 608,862	△ 31,531	△ 577,330
30 経常利益	848,932	1,393,611	△ 544,678
31 特別損益	△ 64,566	62,595	△ 127,162
32 うち固定資産処分損益	259	13,910	△ 13,650
33 うち減損損失	△ 11,709	△ 36,756	25,047
34 うち関連会社株式売却損益	△ 29,401	27,870	△ 57,272
35 うち持分変動損益	△ 23,711	44,944	△ 68,655
36 うち事業譲渡益	-	8,391	△ 8,391
37 うち子会社株式売却益	-	4,240	△ 4,240
38 税金等調整前四半期純利益	784,365	1,456,207	△ 671,841
39 法人税、住民税及び事業税	373,662	270,579	103,083
40 法人税等還付税額	△ 49,569	△ 14,170	△ 35,398
41 法人税等調整額	57,430	69,919	△ 12,488
42 法人税等合計	381,524	326,327	55,196
43 四半期純利益	402,841	1,129,879	△ 727,037
44 非支配株主に帰属する四半期純利益	59,665	59,481	184
45 親会社株主に帰属する四半期純利益	343,175	1,070,398	△ 727,222
46 親会社株主に帰属する四半期純利益(MUB株式譲渡時の戻入勘案後)(注3)	1,144,926	1,070,398	74,528

(注) 1. 連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + その他連結会社粗利益 - その他連結会社営業経費
- その他連結会社一般貸倒引当金繰入額 - のれんの償却費用(経常) - 内部取引

2. MUFU Union Bank, N.A.(以下、「MUB」という。)株式の譲渡契約の締結に伴い、米国財務会計基準審議会会計基準
コーディフィケーション(ASC)326「金融商品-信用損失」、ASC310「債権」等に従い発生した総額1,044,886百万円の
損失のうち、主なものとして売却予定の有価証券に係る公正価値評価による損失594,782百万円をその他の臨時損益に、
売却予定の貸出金に係る公正価値評価による損失449,547百万円を貸出金償却に含めております。

3. MUB株式譲渡契約締結に伴う会計処理に関連した上記損失1,044,886百万円のうち、MUB株式譲渡時に特別利益
として戻入となる801,751百万円を勘案した金額を記載しております。

(参考)

47 与信関係費用総額(△は費用)(5+14+17+21+22+23)	△ 484,515	△ 27,296	△ 457,219
-------------------------------------	-----------	----------	-----------

【2行合算】

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	1,756,589	1,448,889	307,699
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(1,756,589)	(1,448,840)	(307,749)
3 資金利益	1,482,251	856,492	625,759
4 信託報酬	83,944	87,733	△ 3,788
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	49	△ 49
6 役務取引等利益	426,543	369,496	57,047
7 特定取引利益	△ 16,618	41,908	△ 58,527
8 その他業務利益	△ 219,532	93,258	△ 312,790
9 うち 国債等債券関係損益	△ 571,159	55,934	△ 627,094
10 営業費	984,733	976,980	7,752
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	771,855	471,859	299,996
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	-	-
13 業務純益(11+5+12)	771,855	471,908	299,947
14 臨時損益(△は費用)	386,573	209,454	177,119
15 与信関係費用	△ 10,627	△ 16,048	5,420
16 貸倒引当金戻入益	72,026	16,915	55,111
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	22,312	4,068	18,244
18 償却債権取立益	14,679	12,075	2,604
19 株式等関係損益	202,037	186,425	15,611
20 株式等売却益	230,158	210,878	19,279
21 株式等売却損	△ 21,051	△ 19,375	△ 1,675
22 株式等償却	△ 7,069	△ 5,076	△ 1,992
23 その他の臨時損益	86,144	6,017	80,127
24 経常利益	1,158,429	681,362	477,066
25 特別損益	△ 1,643	4,947	△ 6,591
26 税引前四半期純利益	1,156,785	686,310	470,475
27 法人税、住民税及び事業税	260,060	186,958	73,101
28 法人税等還付税額	△ 41,847	△ 12,965	△ 28,881
29 法人税等調整額	82,732	25,062	57,669
30 法人税等合計	300,945	199,055	101,889
31 四半期純利益	855,840	487,255	368,585

(参考)

32 与信関係費用総額(△は費用)(5+12+15+16+17+18)	98,391	17,059	81,331
33 与信関係費用(信託勘定)	-	49	△ 49
34 一般貸倒引当金繰入額	85,812	137,340	△ 51,527
35 個別貸倒引当金繰入額	△ 19,557	△ 118,736	99,179
36 特定海外債権引当勘定繰入額	5,771	△ 1,688	7,459
37 貸出金償却	△ 7,028	△ 12,361	5,332
38 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	22,260	3,928	18,331
39 償却債権取立益	14,679	12,075	2,604
40 その他債権売却損等	△ 3,547	△ 3,547	0
41 コア業務純益(11-9)	1,343,015	415,925	927,090
42 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	802,518	365,011	437,506

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	1,474,911	1,163,716	311,195
2 資金利益	1,119,468	718,767	400,700
3 役員取引等利益	355,299	298,974	56,324
4 特定取引利益	54,642	35,085	19,556
5 その他業務利益	△ 54,498	110,887	△ 165,386
6 うち 国債等債券関係損益	△ 328,855	69,653	△ 398,509
7 営業費	838,585	837,077	1,508
8 うちのれん償却額	1,526	1,170	356
9 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、のれん償却前)	637,853	327,809	310,043
10 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	636,326	326,638	309,687
11 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	-	-
12 業務純益(10+11)	636,326	326,638	309,687
13 臨時損益(△は費用)	350,466	178,153	172,312
14 与信関係費用	△ 10,575	△ 15,908	5,333
15 貸倒引当金戻入益	71,913	16,654	55,259
16 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	22,312	4,068	18,244
17 償却債権取立益	14,679	12,054	2,624
18 株式等関係損益	165,465	156,429	9,035
19 株式等売却益	190,217	178,138	12,078
20 株式等売却損	△ 19,285	△ 17,632	△ 1,652
21 株式等償却	△ 5,466	△ 4,076	△ 1,390
22 その他の臨時損益	86,670	4,855	81,815
23 経常利益	986,792	504,792	482,000
24 特別損益	674	6,045	△ 5,371
25 税引前四半期純利益	987,466	510,838	476,628
26 法人税、住民税及び事業税	225,362	150,843	74,518
27 法人税等還付税額	△ 41,677	△ 10,416	△ 31,260
28 法人税等調整額	74,840	19,232	55,607
29 法人税等合計	258,525	159,659	98,866
30 四半期純利益	728,941	351,178	377,762

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(11+14+15+16+17)	98,329	16,868	81,461
32 一般貸倒引当金繰入額	85,699	137,081	△ 51,381
33 個別貸倒引当金繰入額	△ 19,557	△ 118,738	99,181
34 特定海外債権引当勘定繰入額	5,771	△ 1,688	7,459
35 貸出金償却	△ 7,028	△ 12,361	5,333
36 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	22,312	4,068	18,244
37 償却債権取立益	14,679	12,054	2,624
38 その他債権売却損等	△ 3,547	△ 3,547	0
39 コア業務純益(10-6)	965,182	256,985	708,196
40 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	680,793	208,311	472,482

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	281,677	285,173	△ 3,495
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(281,677)	(285,123)	(△ 3,446)
3 信託報酬	83,944	87,733	△ 3,788
4 与信関係費用(信託勘定)	-	49	△ 49
5 資金利益	362,782	137,724	225,058
6 役務取引等利益	71,244	70,521	722
7 特定取引利益	△ 71,261	6,822	△ 78,083
8 その他業務利益	△ 165,033	△ 17,629	△ 147,403
9 国債等債券関係損益	△ 242,303	△ 13,718	△ 228,585
10 営業費	146,147	139,902	6,244
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	135,529	145,221	△ 9,691
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	-	-
13 業務純益(11+4+12)	135,529	145,270	△ 9,740
14 臨時損益(△は費用)	36,107	31,300	4,806
15 与信関係費用	△ 51	△ 139	87
16 貸倒引当金戻入益	112	260	△ 147
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	-	-	-
18 償却債権取立益	0	20	△ 20
19 株式等関係損益	36,571	29,996	6,575
20 株式等売却益	39,940	32,739	7,200
21 株式等売却損	△ 1,765	△ 1,743	△ 22
22 株式等償却	△ 1,603	△ 1,000	△ 602
23 その他の臨時損益	△ 525	1,162	△ 1,688
24 経常利益	171,637	176,570	△ 4,933
25 特別損益	△ 2,317	△ 1,098	△ 1,219
26 税引前四半期純利益	169,319	175,472	△ 6,153
27 法人税、住民税及び事業税	34,527	33,566	961
28 法人税等調整額	7,891	5,830	2,061
29 法人税等合計	42,419	39,396	3,023
30 四半期純利益	126,899	136,076	△ 9,176

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(4+12+15+16+17+18)	61	190	△ 129
32 与信関係費用(信託勘定)	-	49	△ 49
33 一般貸倒引当金繰入額	113	258	△ 145
34 個別貸倒引当金繰入額	△ 0	1	△ 1
35 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
36 貸出金償却	△ 0	-	△ 0
37 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	△ 51	△ 139	87
38 償却債権取立益	0	20	△ 20
39 その他債権売却損等	-	-	-
40 コア業務純益(11-9)	377,833	158,939	218,893
41 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	121,724	156,700	△ 34,975

2. 銀行法及び再生法に基づく債権

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2022年12月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	231,029	252,148
危険債権	735,059	799,214
要管理債権	411,704	420,453
三月以上延滞債権	21,025	12,104
貸出条件緩和債権	390,679	408,348
小計(A)	1,377,792	1,471,816
正常債権(B)	132,750,347	122,326,614
債権合計(C=A+B)	134,128,140	123,798,430
不良債権比率(A)/(C)	1.02%	1.18%

【2行合算+信託勘定】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2022年12月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	79,438	105,939
危険債権	537,214	602,884
要管理債権	228,883	282,145
三月以上延滞債権	12,825	5,601
貸出条件緩和債権	216,058	276,544
小計(A)	845,536	990,968
正常債権(B)	112,333,544	102,429,934
債権合計(C=A+B)	113,179,081	103,420,902
不良債権比率(A)/(C)	0.74%	0.95%

【三菱UFJ銀行 単体】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2022年12月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	79,390	105,796
危険債権	535,673	601,264
要管理債権	228,883	282,145
三月以上延滞債権	12,825	5,601
貸出条件緩和債権	216,058	276,544
小計(A)	843,947	989,206
正常債権(B)	109,650,984	99,472,730
債権合計(C=A+B)	110,494,931	100,461,936
不良債権比率(A)/(C)	0.76%	0.98%

【三菱UFJ信託銀行 単体】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2022年12月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	47	142
危険債権	1,537	1,618
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	1,585	1,761
正常債権(B)	2,678,478	2,952,474
債権合計(C=A+B)	2,680,064	2,954,236
不良債権比率(A)/(C)	0.05%	0.05%

【信託勘定】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2022年12月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-
危険債権	2	1
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	2	1
正常債権(B)	4,082	4,728
債権合計(C=A+B)	4,085	4,730
不良債権比率(A)/(C)	0.07%	0.03%

3. 有価証券

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
満期保有目的の債券	17,843,129	△ 269,774	4,595,108	14,236

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
その他有価証券	64,259,401	800,916	74,909,679	2,391,884
株式	4,133,466	2,526,167	4,613,704	2,914,100
債券	31,259,912	△ 306,274	40,433,641	△ 61,811
その他	28,866,022	△ 1,418,976	29,862,332	△ 460,404
外国株式	452,158	△ 20,875	218,599	27,791
外国債券	18,988,741	△ 1,571,109	22,030,527	△ 852,866
その他	9,425,122	173,009	7,613,205	364,670

(注) MUB株式の譲渡契約の締結に伴い、ASC326「金融商品－信用損失」に従って、時価をもって四半期連結貸借対照表計上額とした有価証券について評価差額を損失として処理しております。

上記の2022年12月末の評価損益は、当該損失処理した額594,782百万円を含んでおりません。

【三菱UFJ銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	15,407,591	△ 218,052	2,728,406	297
子会社・関連会社株式	610,147	463,234	625,594	535,950

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	47,831,331	873,423	55,874,928	1,904,848
株式	3,447,020	2,049,548	3,855,125	2,380,640
債券	29,428,748	△ 232,548	37,547,364	△ 42,152
その他	14,955,562	△ 943,576	14,472,439	△ 433,638
外国株式	410,966	△ 28,424	165,955	18,877
外国債券	7,641,501	△ 949,206	9,852,226	△ 581,375
その他	6,903,093	34,053	4,454,257	128,859

【三菱UFJ信託銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の証券化商品を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	2,339,005	△ 50,577	1,770,646	10,587
子会社・関連会社株式	90,426	△ 7,258	68,203	4,512

(単位:百万円)

	2022年12月末		2022年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	9,654,281	26,256	12,685,391	471,160
株式	728,860	437,402	790,399	477,909
債券	1,809,039	△ 73,842	2,852,749	△ 19,783
その他	7,116,380	△ 337,303	9,042,242	13,035
外国株式	79	61	63	46
外国債券	5,499,888	△ 479,321	6,631,313	△ 211,307
その他	1,616,413	141,956	2,410,865	224,295

4. ROE

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:%)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期
親会社株主に帰属する当期純利益ベース	2.88	9.93

(注)ROEは、以下の式により算出しております。

$$\frac{\text{親会社株主に帰属する四半期純利益} \times 4 \div 3}{\{(期首株主資本合計 + 期首為替換算調整勘定) + (期末株主資本合計 + 期末為替換算調整勘定)\} \div 2} \times 100$$

5. 預貸金利回

【2行合算】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期
貸出金利回	0.73	0.72
預金等利回	0.00	0.00
預貸金利回差	0.73	0.72

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	0.76	0.75
預貸金利回差	0.76	0.75

【三菱UFJ銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期
貸出金利回	0.74	0.73
預金等利回	0.00	0.00
預貸金利回差	0.74	0.73

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	0.76	0.75
預貸金利回差	0.76	0.75

【三菱UFJ信託銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期
貸出金利回	0.37	0.37
預金等利回	0.01	0.02
預貸金利回差	0.35	0.34

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	0.74	0.69
預貸金利回差	0.73	0.67

6. 預金、貸出金の残高

【2行合算】

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
預金	末残	198,739,761	194,249,280
	平残	198,763,473	195,540,350
貸出金	末残	101,555,202	93,157,141
	平残	98,073,587	91,880,995

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
国内預金残高(末残)(注)		168,223,385	168,282,238
うち個人預金		91,367,198	88,268,890

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
預金	末残	187,892,050	183,356,877
	平残	187,421,902	184,598,552
貸出金	末残	99,182,464	90,421,234
	平残	95,352,216	89,038,475

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
国内預金残高(末残)(注)		158,685,298	158,934,418
うち個人預金		85,131,193	82,053,180

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
預金	末残	10,847,710	10,892,403
	平残	11,341,571	10,941,798
貸出金	末残	2,372,738	2,735,906
	平残	2,721,371	2,842,520

(単位:百万円)

		2022年12月末	2022年3月末
国内預金残高(末残)(注)		9,538,086	9,347,819
うち個人預金		6,236,005	6,215,710

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

7. 信託財産残高表【三菱UFJ信託銀行 単体】

(職務分担型共同受託財産合算分)	(単位:百万円)	
	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産		
貸出金	1,120,418	1,226,501
有価証券	67,663,477	67,367,474
信託受益権	108,857,810	115,544,657
受託有価証券	3,230,600	3,492,380
金銭債権	40,409,077	32,419,936
有形固定資産	19,066,909	20,183,448
無形固定資産	147,570	163,524
その他債権	2,520,092	2,596,285
コールローン	1,292,609	3,401,303
銀行勘定貸	11,862,710	9,188,610
現金預け金	5,124,019	6,306,042
合計	261,295,295	261,890,164
負債		
金銭信託	29,852,422	30,411,782
年金信託	12,339,538	12,016,177
財産形成給付信託	6,532	6,243
投資信託	112,937,424	117,945,933
金銭信託以外の金銭の信託	5,820,407	6,448,588
有価証券の信託	5,795,848	5,871,650
金銭債権の信託	36,599,637	28,549,860
動産の信託	138,279	157,771
土地及びその定着物の信託	18,522	18,440
包括信託	57,786,682	60,463,716
合計	261,295,295	261,890,164

(注) 1. 三菱UFJ信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社が職務分担型共同受託方式により受託している信託財産を合算しております。

2. 上記以外の自己信託に係る信託財産残高は前事業年度末485,019百万円、当第3四半期会計期間末362,771百万円であります。